

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年11月28日時点)

➤ **ウクライナ軍**は、東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)での攻勢が停滞する中、ヘルソン正面やクリミア半島方面への攻撃を継続する一方、**露軍**は、東部で攻勢を強めるとともに、各地への攻撃を継続している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人(NYT8月18日)

: 死者約15万人(「ウ」軍総司令官11月1日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人(NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,000人以上(UN11月21日)

- 「ウ」軍タヴリヤ作戦集団司令官は、**アウディウカ正面で露軍が第三波となる攻勢を開始した**と指摘(11月23日)
- 「ウ」軍広報局は、**クピャンスク正面**における露軍が、更なる成功を収めるためにシンキウカ到達を目指して「ウ」軍部隊の防御の弱点を探しており、**空爆、砲撃、自爆型無人機による攻撃を強化している**と指摘(11月26日)
- 米戦争研究所(ISW)は、**露軍がアウディウカ市の北西及び南東でわずかに前進した可能性**がある旨評価(11月26日)

- 「ウ」空軍報道官は、露軍が**各種ミサイル計約900発を備蓄している可能性**があり、また、現在露軍は**月に約100発の長距離ミサイルを生産することが可能**と指摘(11月24日)
- 「ウ」軍参謀本部は、**11月中の露軍の1日あたりの人的損失数が過去最高の平均931人**に上っていると指摘(11月27日)

- 「ウ」空軍は、露南西部プリモルスコ・アフタルスク及び露西部クルスクの2方面から、主に**キーウを標的としたイラン製無人機「シャヘド」×約75機による攻撃**があり、うち**74機を「ウ」空軍が迎撃した**と発表。また、同攻撃は露による「ウ」侵略開始以来**最大規模の無人機攻撃**であったと指摘(11月25日)
- 「ウ」空軍報道官は、撃墜した無人機の残骸から、「シャヘド」の**反射断面がSAMのレーダー波を吸収する炭素の合成材でコーティング**されており、また、夜間の目視による迎撃を困難にするためとみられる**黒く塗装されたものも発見**されたと指摘(11月25日)
- 露国防省は、**モスクワやトゥーラ、カルーガ、スモレンスク、ブリャンスク各州に「ウ」軍の無人機攻撃**があり、うち少なくとも**24機を露軍が撃墜した**と発表。露トゥーラ州知事は、同攻撃により**市民1人が負傷した**と報告。また、戦場では過去24時間以内に**HIMARSのロケット弾×17発を迎撃した**と発表(11月26日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等